

# 官僚が支配した 帝国・宋

科挙による官僚国家体制は、腐敗もともなった

907年に唐(P51参照)が滅びてからのおよそ50年間は、華北で5王朝が交替し、地方には10の国ができた(五代十国)激動の時代であった。この間に門閥貴族が衰退し、節度使ら武人や、それと結びついた新興地主層が優勢となった。

960年、後周の武將趙匡胤(ちゆうきゆういん)が皇帝となって宋(北宋)を建てた。宋は武断政治を改めるため、節度使の実権を奪って、皇帝の直屬軍である禁軍を置き、文人官僚による文治主義を推し進めた。

官僚登用については、従来の科挙に、皇帝自らが試問する殿試を加え、官僚への統制を強化した。官僚を出した家は官戸とよばれ、大きな特権を得たため、多くの新興地主層(形勢戸)は、競って官戸を目ざした。しかし、官僚への賄賂が横行し、腐敗が進行した。

宋代には、稲作が発達したことに加え、塩、茶、酒などの生産もさかんになり、専売によって国庫を潤した。首都の開封は交通の要衝で、大運河を利用して各地の物資が集散した。商業の発展は貨幣経済の浸透を促し、手形の一つである会子や交子が紙幣として使われはじめた。文化面では宋学が興り、科学技術の進歩が三大発明を生んだ。



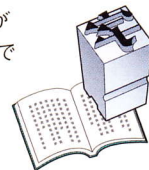
武断政治から文治主義へ転換した宋代。庶民の生活が向上し、経済・文化が発展した陰で、官僚の腐敗が進行した。

## 宋代の三大発明

印刷技術、火薬、羅針盤は、いずれも宋代に改良・実用化されたもので、宋代の三大発明とされる。これらの技術はイスラム商人によってヨーロッパに伝えられ、後世に大きな影響を与えた。

### 印刷技術

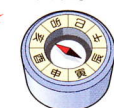
活版印刷がヨーロッパで普及。



火薬  
大砲や鉄砲を生む。



羅針盤(磁針)  
大航海時代を実現。



Key Word

## 朱子学

宇宙の原理や人間の本性を追求する新しい儒学で、北宋の周敦頤(しゅうとうい)らの学説を、南宋の朱熹(しゆき)朱子)が集大成したもの。朱熹の晩年には偽学として弾圧されたが、その死後には官学として迎えられ、中央集権国家を統治する思想として大きな役割を果たした。日本には鎌倉時代に伝わり、江戸幕府によって官学とされた。